

- 問1 明治時代に北海道に導入された屯田兵という制度について、その目的と背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- アイヌの人々との交流を円滑に進めるため、政府の使節団として文化の紹介を行うため。
 - 諸外国との貿易を拡大するために、函館を中心とした港湾施設の整備と防衛を担うため。
 - ロシアによる南下への備えといった北方の警備と、未開地の開拓を同時に行うため。
 - 版籍奉還によって職を失ったすべての武士に対し、新しい軍隊の幹部候補として教育を行うため。
- 問2 明治初期、1877年に鹿児島県を中心に発生した西南戦争の主な背景として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- 欧米列強による開国要求に反対する人々が、攘夷を目的として政府軍に戦いを挑んだこと
 - 地租改正による重い税負担に苦しむ農民たちが、全国各地で一斉に蜂起したこと
 - 廃刀令や秩禄処分によって、特権を失った士族たちの政府に対する不満が高まったこと
 - 自由民権運動が激化し、国会の開設を求める人々が各地で武装したこと
- 問3 明治時代、政府が北海道の開拓を進める中で、アイヌの人々の生活に与えた具体的な影響として正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- 伝統的な狩猟やサケ漁が禁止され、農業中心の生活への転換が求められた。
 - 広大な土地の所有権がアイヌの人々に与えられ、和人の入植が厳しく制限された。
 - アイヌ独自の言語を公用語として認め、学校教育でアイヌ語の授業が義務付けられた。
 - 伝統的な刺青(いれずみ)や耳輪などの風習を、日本の新しい文化として奨励した。
- 問4 1885年に内閣制度が創設された時期の日本において、政府が推進していた経済や社会の動きとして最も適切な説明はどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- 犬養毅首相が海軍将校らに暗殺される五・一五事件が起こり、政党政治が中断した。
 - 日中戦争の長期化に対応するため、国家総動員法が制定されて経済の統制が強まった。
 - 吉野作造が民本主義を提唱し、普通選挙の実現を求める護憲運動が展開された。
 - 渋沢栄一らが経済界をリードし、官営模範工場の設立などの殖産興業政策が進められた。
- 問5 1911年から1912年にかけて中国で起こった政治的な変化とその意義について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- 日本との戦争に勝利したことをきっかけに、共産党が主導する社会主義国家が誕生した。
 - 清が欧米列強を完全に排除し、皇帝を中心とした強力な中央集権体制を再建した。
 - 清の皇帝を維持したまま議会を開設し、アジアで初めての立憲君主制へと移行した。
 - 辛亥革命によって皇帝政治が終わり、国民に主権があるとする共和制の国家が樹立された。
- 問6 明治後期の日本において、大阪紡績工場に代表されるような紡績業や製糸業といった近代産業が急速に発展した背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- 軍備を制限することで得られた余剰資金が、民間の軽工業分野へ集中的に投資された。
 - 欧米諸国との間で関税自主権を完全に回復したことにより、安価な原料を無税で輸入できるようになった。
 - 労働組合の結成が政府によって推奨され、労働環境が改善されたことで生産効率が飛躍的に向上した。
 - 農村出身の女子工員らによる低賃金での長時間労働が、国際競争力のある製品生産を支えていた。
- 問7 1881年に明治政府が10年後の国会開設を約束したことを受けて、自由民権運動の指導者であった板垣退助を党首として結成された、日本で最初の政党を選びなさい。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- 自由党
 - 日本自由党
 - 立憲改進黨
 - 立憲帝政党
- 問8 1872年に明治政府が群馬県に設立した富岡製糸場について、その設立目的と特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- 日清戦争の賠償金をもとに、鉄鋼の自給自足を目指して北九州に建設された
 - 民間の資本によって設立され、蒸気機関を用いた大規模な綿糸の生産を行った
 - 欧米の技術を導入して生糸の増産と品質向上を図るための官営模範工場として設立された
 - 士族の授産を目的として、北海道の開拓地で羊毛の加工を行うために作られた
- 問9 明治時代の外交史において、領事裁判権の撤廃が実現した時期を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。なお、条約改正の歩みには、岩倉使節団の派遣、鹿鳴館時代、憲法発布、日露戦争、関税自主権の回復といった重要な節目があるものとします。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法が発布された後から、日露戦争が勃発するまでの間
 - 岩倉使節団が欧米を訪問していた時期と、鹿鳴館で外交官を接待していた時期の間
 - 第一次世界大戦が終結し、日本が国際連盟の常任理事国になった後の時期
 - 日露戦争の講和会議が行われた後から、関税自主権が完全に回復するまでの間
- 問10 1905年、アメリカの大統領セオドア・ルーズベルトの仲介によって結ばれたポーツマス条約の内容と、その後の日本国内の状況について述べた文として正しいものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- 条約締結によって増税が廃止されることが期待されたが、実際にはさらなる増税が決定したため、全国で米騒動が勃発した。
 - 日本は賠償金として2億両を獲得することに成功したが、ロシアに遼東半島を返還することになったため、国民が政府を批判した。
 - ロシア国内の社会情勢が悪化したため、日本はロシア全土を占領することに成功し、多額の賠償金と広大な領土を獲得した。
 - 日本は南樺太の割譲や韓国における指導権を認められたが、賠償金が得られなかったため、講和に反対する国民が暴動を起こした。
- 問11 1894年に始まった日清戦争から、1904年に始まる日露戦争までの約10年間の外交史において、三国干渉に関連して起きた出来事の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- 三国干渉を受けた直後、日本は清の反乱軍である義和団を鎮圧するために大軍を派遣した。
 - 三国干渉の翌年、日本は下関条約の修正を行い、遼東半島の代わりに台湾を領有した。
 - 三国干渉の結果、日本は賠償金の受け取りをすべて破棄し、国際社会での信用回復に努めた。
 - 三国干渉でロシアに屈した日本は、対抗するためにイギリスとの間で日英同盟を結んだ。
- 問12 1872年に明治政府が、輸出の主力製品であった生糸の品質向上と増産を図るために群馬県に設立した、フランスの技術と機械を導入した日本初の本格的な機械製糸工場の名称を選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- 長崎造船所
 - 富岡製糸場
 - 足尾銅山
 - 八幡製鉄所
- 問13 明治時代、多くの知識人が欧米の進んだ技術や思想を学ぶために海外へ渡りました。その一人で、ドイツ留学の経験をもとに、ベルリンを舞台として現地の女性との交流や知識人としての苦悩を描いた小説『舞姫』を執筆した人物は誰ですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- 野口英世
 - 夏目漱石
 - 志賀直哉
 - 森鷗外

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ロシアによる南下への備えといった北方の警備と、未開地の開拓を同時に行うため。	当時の日本は、北方から領土拡大を狙うロシアの脅威に直面していました。政府は北海道を日本の領土として実効支配するため、開拓使を設置して大規模な開発を進めました。屯田兵は、平時は土地を切り拓いて生活基盤を築き、有事の際には兵士として戦う仕組みであり、特に秩禄処分などで困窮していた土族の救済策としての側面も持っていました。
問2	答え 3 廃刀令や秩禄処分によって、特権を失った土族たちの政府に対する不満が高まったこと	明治政府が進めた四民平等の政策や、帯刀を禁じる廃刀令、家禄（給与）を廃止する秩禄処分などは、武士としての誇りや経済的基盤を奪われた土族たちの強い反発を招きました。これらの不満が爆発し、西郷隆盛を首領として九州で起こった最大規模の反乱が西南戦争です。
問3	答え 1 伝統的な狩猟やサケ漁が禁止され、農業中心の生活への転換が求められた。	明治政府による北海道の開拓は、ロシアに対する北方の警備と、職を失った土族などの救済を目的としていました。その過程で、アイヌの人々が生活の基盤としていた広大な土地は国有地へと編入されました。さらに政府は、アイヌの伝統的な生活様式であった狩猟やサケ漁を禁止し、慣れない農業に従事させることで、彼らの経済的・文化的な基盤を大きく損なわせました。
問4	答え 4 渋沢栄一らが経済界をリードし、官営模範工場の設立などの殖産興業政策が進められた。	内閣制度が創設された1880年代は、明治政府が「富国強兵」を目指して近代産業の育成に力を注いでいた時期です。渋沢栄一などの民間実業家も協力し、紡績業や鉄道建設といった殖産興業が活発化していました。他の選択肢は、大正時代から昭和時代にかけての出来事であるため不適切です。
問5	答え 4 辛亥革命によって皇帝政治が終わり、国民に主権があるとする共和制の国家が樹立された。	辛亥革命の最大の意義は、2000年以上続いてきた中国の皇帝政治（専制政治）を終わらせた点にあります。新たに成立した中華民国は、世襲の君主を置かない「共和制」を採り、アジアにおける近代国家の先駆けとなりました。これは単なる王朝の交代ではなく、政治制度そのものの根本的な転換でした。
問6	答え 4 農村出身の女子工員らによる低賃金での長時間労働が、国際競争力のある製品生産を支えていた。	日本の近代産業の発展、特に初期の軽工業（製糸・紡績業）は、農村の貧困層から供給された女子工員たちの過酷な労働条件によって支えられていました。このような産業基盤の確立が、当時の日本の帝国主義的な対外政策を経済面から後押しすることとなりました。当時、労働者の権利保護や軍備の縮小といった動きはまだ主流ではなく、むしろ富国強兵に向けた産業育成が優先されていました。
問7	答え 1 自由党	1881年に出された「国会開設の勅諭」により、10年後の国会開設が約束されました。これに備えて、国民の意見を政府に届けるための組織として結成されたのが日本初の政党である自由党です。第二次世界大戦後に結成された日本自由党や、大隈重信が結成した立憲改進黨との混同に注意が必要です。
問8	答え 3 欧米の技術を導入して生糸の増産と品質向上を図るための官営模範工場として設立された	明治政府は、日本の主要な輸出品であった生糸の品質を向上させ、外貨を効率よく獲得するために、フランスの技術や機械を取り入れた富岡製糸場を設立しました。このような、政府が民間の手本とするために運営した工場を官営模範工場と呼びます。選択肢にある製鉄所（八幡製鉄所）や民間資本による紡績（大阪紡績会社など）と混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 大日本帝国憲法が公布された後から、日露戦争が勃発するまでの間	領事裁判権の撤廃が実現したのは1894年です。これは大日本帝国憲法が公布された1889年より後であり、日露戦争が始まった1904年より前の出来事にあたります。日本が憲法を制定し、立憲国家としての体裁を整えたことが、イギリスなどの列強に条約改正を決断させる大きな要因の一つとなりました。
問10	答え 4 日本は南樺太の割譲や韓国における指導権を認められたが、賠償金が得られなかったため、講和に反対する国民が暴動を起こした。	ポーツマス条約では、日本は南樺太の割譲、大韓帝国における指導権、南満州の鉄道利権などを獲得しました。しかし、最大の関心事であった賠償金が一切得られなかったため、増税に苦しんでいた国民は「弱腰外交」であると政府を激しく批判しました。これが日比谷焼打ち事件という大規模な民衆暴動へとつながりました。
問11	答え 4 三国干渉でロシアに屈した日本は、対抗するためにイギリスとの間で日英同盟を結んだ。	三国干渉によってロシアの脅威を強く認識した日本は、同じくロシアの極東進出を警戒していたイギリスとの利害が一致し、1902年に日英同盟を締結しました。これが日露戦争への重要な備えとなりました。義和団事件への出兵は1900年の出来事であり、三国干渉の直接的な「直後」の対応ではありません。また、台湾は下関条約で当初から割譲が決まっており、賠償金も遼東半島返還の代償金を含めて増額して受け取っています。
問12	答え 2 富岡製糸場	明治政府は殖産興業政策の一環として、外貨を獲得するために生糸の生産に力を入れました。群馬県に設立された富岡製糸場は、最新のフランス式技術を導入した官営模範工場であり、ここで技術を学んだ工女たちが全国にその技術を広める役割を担いました。2014年には世界文化遺産にも登録されています。
問13	答え 4 森鷗外	森鷗外は軍医としてドイツに留学し、帰国後にその経験を反映させた『舞姫』を発表しました。これは明治時代のロマン主義文学を代表する作品の一つです。選択肢にある夏目漱石はイギリス留学を経験していますが、『吾輩は猫である』などの著者として知られます。野口英世は黄熱病の研究で知られる医学者であり、文学者ではありません。